

各 位

①平成 13年 10月 10日

会 社 名 福井コンピュータ株式会社  
コード番号 9790  
問合せ先 取締役管理本部長  
落野 勝  
TEL (0776) 53 - 9200

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 5月 15日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

### 記

#### 1. 14年 3月期中間業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 13年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 15日 発表)	3,530	165	73
今回修正予想(B)	2,919	△ 254	△ 177
増減額(B-A)	△ 611	△ 419	△ 250
増減率	△ 17.3	-	-
前期(平成13年 3月中間期)実績	3,527	237	83

#### 2. 14年 3月期通期業績予想数値の修正(平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 5月 15日 発表)	7,600	904	436
今回修正予想(B)	6,644	116	0
増減額(B-A)	△ 955	△ 788	△ 436
増減率	△ 12.6	△ 87.2	△ 99.9
前期(平成13年 3月期)実績	7,284	761	317

### 3. 理 由

(1) 第一四半期におきましては、建築・土木業界の市況悪化の影響を受け、売上高、利益ともに計画を下回ったまま推移いたしました。

また、第二四半期におきましては、新商品「住宅創造システム ARCHITREND Virtual House」を投入し、売上増加に努めましたが、高スペックのハードウェアが必要であることや販売店への研修が立ち遅れたことなどにより、売上高、利益ともに計画を下回りました。また、ARCHITREND Virtual Houseで作成したデータは、建築CADソフトウェア「ARCHITREND21 Ver.6.0」によって、各種図面作成、積算・見積にまで連動し、その能力を最大限に発揮しますが、後者の発売時期が9月20日であったことも、今期売上高への貢献を停滞させたひとつの要因であると考えられます。こうした中、TSS-V（常に最新バージョンを使える新保守サービス）は、計画を上回って推移しましたが、当該商品は3年間に及ぶ保守商品である性格上、売上高は契約月数に分割して計上されることから、本中間期の売上高への貢献は軽微なものとなりました。その結果、期首において、中間期は、売上高35億3千万円、経常利益1億6千5百万円、中間純利益7千3百万円を計画いたしておりましたが、売上高、経常利益、中間純利益の各々で計画を下回り、売上高29億1千9百万円、経常損失2億5千4百万円、中間純損失1億7千7百万円を見込んでおります。

(2) 下半期は、9月20日に発売を開始した建築CADソフトウェアの新規バージョン（ARCHITREND21 Ver.6.0）の住宅新法対応機能の充実や、ARCHITREND21との連動性を確立したARCHITREND Virtual Houseの積極的な販売を推し進めるとともに、土木業界向けの新商品のリリース、測量CADソフトウェアの新規バージョンの投入を計画しております。以上のことから、売上高は37億2千5百万円、経常利益は3億7千万円を見込んでおります。

(3) したがって、平成14年3月期通期（13/4～14/3）といたしましては、売上高66億4千4百万円、経常利益1億1千6百万円、当期純利益0百万円を予想いたしております。

以上